

人生あんしん事業始めました

終活とは？

終活とは、人生の最期に向けて行う事前準備のことです。

例えば、財産や身のまわりの整理、葬儀やお墓の準備などがあり



ます。そのほか、死後の手続きのために必要な情報や家族などへのメッセージを書き残す「エンディングノート」の作成は、誰でもすぐに取り組める代表的な終活のひとつと言われており、具体的な内容は人によって異なります。

人生あんしん事業

亡くなった後の手続き等は親族が行うのが一般的ですが、一人暮らしの高齢者が増え、支援できる親族が身近にいないことも増えています。

そこで、市社会福祉協議会では、令和6年4月から終活事業「人生あんしん事業」を始めました。

この事業は、契約の締結から終結まで、長期にわたることが想定されます。契約者の状態に変わりがなく、何か困りごとがないかなどを確認することも重要となるため、死後事務だけでなく、見守り



自宅で説明を行っている様子

も行います。また、地域での生活について一緒に考えながら、意向に応じて地域の集まりや活躍できる場などにつなげ、孤立することがないよう支援します。

さらに、認知症などによりご自身での生活が難しくなっても、関係機関と連携し介護保険サービスにつないだり、市社会福祉協議会が実施する他の事業によって、安心して生活を続けていけるようお手伝いします。

本事業は、契約者が亡くなった後の手続きに関する重要な事業のため、相談に来られた人と一緒に時間をかけて考えながら進めていきます。関心がある人はまずは市社会福祉協議会にご相談ください。